

## 国際コラボレーション

2013年度から新しく単位化された科目です。タイ・ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校とのワークショップを軸とした双方向留学をすることにより、単位取得を目指します。WEB制作のワークショップで、異文化交流、英語力の向上を目指し、学生どうしの友情を深めます。

### タイ「ラジャマンガラ工科大学・タンヤブリ校 (RMUTT)」への留学 ワークショップを通して国際交流を実践。

本学とRMUTTでの各大学で開催される学内WEBデザインコンテスト (WDC) 上位入賞者であり、一定の成績をおさめた学生のみが参加できるコンテストです。参加学生はタイと日本の双方を行き来することにより異国の文化を理解し、またWEB共同制作というワークショップを通してかけがえのない国境を越えた友情を育むことができます。言語は英語で行われ、お互いの参加学生がコミュニケーションをとるために英語の勉強が自然とできるのも魅力のひとつです。

### WEBデザインコンテスト & ワークショップ

留学先	ラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校 (RMUTT) Rangsit-Nakhorn, Nayok Road, Klong 6, Thanyaburi, Pathum Thani 12110
電話	0-2549-3441
日程	8月中旬 (10日間)
申込期間	5月上旬学内WDC作品応募締切
参加人数	10人 (予定)
参加資格	学内WEBデザインコンテストで上位に入賞した もので、本学の在校生であり一定の学業成績を おさめたもの。
参加費用	航空運賃、宿泊料については大学にて負担。別 途交通費代、食費、現地アクティビティ代、そ のほかお小遣いなどが必要となります。

※上記はすべて平成24年度の内容となっています。何卒ご了承ください。

### TOPIC

## ほほえみの国タイで友情を育もう!

留学先のRMUTTからバンコクまでは車で1時間程度にあり、現代的なビルが立ちならぶ中にも寺院や歴史的建造物があり非常に魅力的な街。また気候は温暖で、朗らかな人が多いタイで参加学生ものびのびと留学ができます。

開講学部：経営情報学部 / 情報メディア学部 / 医療情報学部

種別：選択

配当年次：1・2・3・4年

単位数：2単位

開催時期：夏期集中 (8月中旬～9月中旬)



## MYANMAR ミャンマー



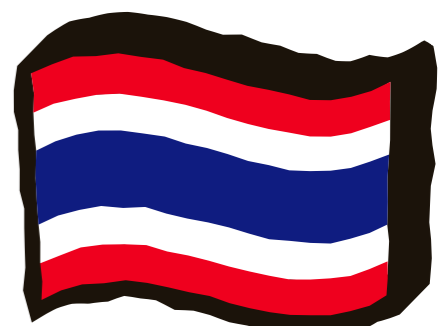
## 古今の歴史と文化が調和し、 厳かな仏教文化が息づく国。

東南アジアの中心に位置し、国土面積は約51万4,000平方キロメートル (日本の約1.4倍)。ミャンマー、ラオス、カンボジア、マレーシアと国境を接しています。人口は6,000万人で民族的には、タイ族が約85%、中華系が10%、他にモン・クメール系、マレー系、ラオス系、インド系が暮らしており、山岳部にはそれぞれの文化や言語をもった少数民族が暮らしています。また気候は熱帯性気候で、一番暑い4月の平均気温は35度、一番涼しい12月の平均気温は17度です。

## アジア有数の 近代国家。 国王の人気は絶大。

国民の高い教育水準や豊かな国土を背景に徐々に工業国への道を模索し、1967年には東南アジア諸国連合 (ASEAN) に結成時から加盟。1989年にアジア太平洋経済協力 (APEC) に結成時から参加しました。また立憲君主制のもと平時は国王は象徴的な存在であるが国王の人気は高く、国王や王妃の誕生日には国中が誕生日を祝うお祭り状態となります。

# THAI LAND



# タイ・ラジャマンガラ工科大学 タンヤブリ校の特長

首都バン

コクから約40kmの郊外にある

のがラジャマンガラ工科大学タンヤブリ

校。工学部、理工学部、演劇・音楽学部、経営

学部、教育学部、教養学部など 10 学部を有し、学

生数 2 万人（大学院生を含む）、教職員数約 800 人と

いう大きな大学です。広大なキャンパスには学生寮や学生食

堂、サッカースタジアムといった厚生施設が充実し、所在県

の名前の由来になっている蓮の美術館「ロータミュージアム」

もあります。キャンパスの周辺は巨大な学生街で、夜もにぎや

かな雰囲気にあふれています。ラジャマンガラ工科大学はタイ

国内の各地に 9 つのキャンパスを持ち、タンヤブリ校はその

メインキャンパス。国際交流は非常に活発で、ヨーロッパ

とアジアを中心に世界中の大学・研究機関と交流協定

を結んでいます。タイ王国の教育に対する熱心

な姿勢がラジャマンガラ工科大学タンヤ

ブリ校の精神に流れているといえる

でしょう。

## バンコクについて

ほほえみ

の国といわれるタイ。2012 年

10 月より千歳空港からタイの首都バンコ

クへの直行便が運航し、より身近な国になりま

した。バンコクはタイ経済の中心で、東南アジア屈指

の大都市です。市内にはタイ国際航空やバンコク銀行、

シン・コーポレーション・グループなどの大企業の本社があり、

メルセデス・ベンツ、アリアンツなどの外国企業の支店が立ち

並びます。サイアムスクエアは、若者たちのトレンド発信地とし

て有名なショッピングエリア。サイアム・パラゴンや伊勢丹、ロ

ビンソンなどの巨大ショッピングビルだけでなく、小路にはおしゃ

れなカフェやオリジナルブランドを扱うショップが立ち並ぶな

ど、楽しいエリアです。また、日本人に大人気のタイフードも

大いに楽しめます。本場のタイ式マッサージを受けてみる

のもいいでしょう。バンコクならではの魅力は、なんと

いっても荘厳な寺院や歴史的建造物などにありま

す。日本の寺院とはひと味違う金色に輝く

寺院や仏像の美しさは、一見の

価値があります。

## WDC2012に関してHIUの学生の皆様へのメッセージ



Asst. Prof. Dr. Natha Kuptasthien

Industrial Engineering Department Head and Head of International Affairs  
Faculty of Engineering

WDC2012に参加した皆様おめでとうございます。コンテストは愉快で、楽しく笑い合いながら友情を育み、生涯忘れることのできない大変貴重な体験となりました。RMUTTを代表して、私どもがHIUの美しいキャンパスを訪れた際の皆様のお心遣いに感謝の意を表したいと思います。タイに皆様をお招きした際も素晴らしい時間を過ごしました。WEBデザインコンテストは、HIUとRMUTTとの結びつきがより強くなった証です。WDC2013を楽しみにしています。

## ウラビス先生からのメッセージ



Dr. Uravis Tangkijviwat

Vice Dean, Student Development  
Faculty Of Mass Communication Technology

私がWDCに2度参加させていただいた中で目の当たりにしたことは、この活動が学生や教授陣が知識を得ることはもとより、文化の差異を超えてお互いが学びあって良い関係を結ぶこと、そこから生まれる笑顔や親しみが、このプロジェクトを成功させる重要なポイントの一つだということです。

# 短期留学 タイ編 スケジュール



普段からの成績も肝心。英語も勉強しななくちゃ。

情報メディア学部 情報メディア学科 田代圭佑さん



タイ行きが決まったら、さっさとパスポート！

情報メディア学部 情報メディア学科 西畑里穂さん

## つぎに

### パスポートを申請し、取得します！

まずは以下のものを用意してください。

- ①一般旅券発給申請書（パスポート申請窓口にて入手できます）
- ②戸籍謄本または戸籍抄本…1通
- ③写真（縦45mm×横35mm）…1葉  
※緑なし無背景で、申請日前6か月以内に撮影されたもの
- ④本人確認書類 ※原本のみ、コピー不可

- 1点提示すればよいもの
- 運転免許証 ○写真付きの住民基本台帳カードなど
  - 以上に対はまる書類がない場合は次から2点提示（提出）
  - ただし、②+③、または②+④の組み合わせで2点必要
  - ⑤健康保険証、国民健康保険証、共済組合証、船員保険証、後期高齢者医療被保険者証、国民年金証書（手帳）、厚生年金証書、船員保険年金証書、恩給証書、印鑑登録証明書（印鑑も持参）など
  - ⑥在学証明書、写真付きの身分証明書（学生証/社員証など）
  - 失効旅券（失効後6か月以上経過したもの）
  - ⑦印鑑（スタンプ式ゴム印は不可）

※訂正箇所があった場合に必要となります。  
以上のものを用意して、申請窓口で申し込みをしてください。  
また、受領時に収入印紙にて下記の手数料が必要となります。

- 10年間有効なパスポート  
…収入印紙14,000円+都道府県収入証紙2,000円
- 5年間有効なパスポート  
…収入印紙9,000円+都道府県収入証紙2,000円

### 【先輩からの知っ得情報】

- ◇日差しが強いので帽子・サングラスは必須！
- ◇バンコク市内を結構歩くので靴は履きなれたものを！
- ◇必要最低限の薬は引率の先生が持って行ってくれるよ。
- ◇寮の周りにはスーパーやコンビニがないので日常生活に必要なものはしっかり持参してね！

## まずは

### 2013年度WEBデザイン コンテスト (WDC) の 予定をチェック！

- WDC作品応募締切：2013年5月上旬
- 国際WDCエントリー作品発表：2013年6月（予定）
- 国際WDCワークショップおよび事前講義：2013年7月～9月
- 事後報告会：10月（予定）

参加には上記の国際WDCにエントリーされること、一定の成績資格が必要となります。



応募した作品が選ばれますように！

情報メディア学部  
才田恵梨香さん

タイは暑いけど寺院などで肌を見せるのは禁止な場所も。しっかり調べよう。



経営情報学部 システム情報学科 新妻慎太郎さん

## 続いて

### 荷物を準備しましょう！

#### ■機内持ち込み手荷物

- パスポート○写真（予備）○現地通貨（現地到着後も換金できません）○航空券○クレジットカード（必要に応じて）○ノートパソコン○筆記用具○ポケットティッシュを多めに

#### ■受託手荷物（スーツケース）

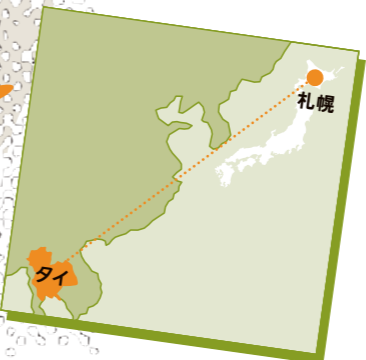
- 衣類、下着○目覚まし時計○水着○辞書○ガイドブック
- 常備薬、コンタクトレンズケア用品○変圧器（必要に応じて）

その他、みなさんの日常で不可欠なものをお忘れなく！

10/5 ▶ 10/11  
ようこそ日本へ!  
RMUTT → HIU

10/25 ▶ 10/31  
いよいよタイへ出発～!  
HIU → RMUTT

# WEBデザイン コンテスト ✈️ WORKSHOP



新千歳空港到着  
RMUTTから今回のコンテストに選ばれた10名の学生が来日。

10/5  
1日目

小樽



言葉も文化も違う双方の学生が、WEB制作をより言葉の壁を超え、異文化を理解を深めます。

10/6  
2日目

スタートアップ

学長からの挨拶に始まり、基調講演、著作権についての講義が行われました。

歓迎会



10/7  
3日目

WORK SHOP 開始

いよいよWEBデザインコンテストのワークショップであるWEBデザイン共同制作が始まります。テーマは日本とタイの文化比較。1グループはHIU2名、RMUTT2名で構成され、計5グループに分かれて作業します。

10/8・10/9  
4・5日目

札幌市内取材

WEB制作のための取材をします。テーマに合わせて各グループごと行動することによって結束力UP!

札幌

作品制作

10/10  
6日目



送別会

10/11  
帰国日

帰国

10/25  
1日目

スワンナプーム空港到着

HIU 選抜 10名の学生がタイ・バンコクへ。

RMUTT

これからお世話になるRMUTTの寮。食堂のタイ料理がおいしい!

10/26  
2日目

WORK SHOP 開始

RMUTTの学生が帰国してからも、日本とタイと離れてFacebookなどSNSを利用してWEB制作を進めてきました。また今日から顔を合ながら一緒に作っていきます!

10/30  
6日目

WORK SHOP

今まで作成してきた作品にタイで取材したことを合わせてWEBサイトを完成させます。いよいよ追い込み!

パタヤ&ZOO

10/29  
5日目

プレゼン

いよいよ制作したWEBサイトをグループごとに英語で発表します。

10/27・10/28  
3・4日目

バンコク取材・宿泊

タイとの文化比較を追及するためバンコクに1泊して取材します。タイの学生や引率者と一緒に行くので安心です。

表彰式

HIUからの学生は佳作賞に入賞!

送別会

短い期間ですが、WEB制作という共同作業を通じて異文化交流、国際交流をした両校の学生にはかけがえのない友情が芽生えます。

10/31  
帰国日

帰国

## STUDENTS' VOICE



情報メディア学部  
情報メディア学科  
4年  
田代圭祐さん



情報メディア学部  
情報メディア学科  
3年  
新谷なぎささん

最初はなかなか言葉が通じなかったけれど、最後にわかりあえたのは自分の将来への自信になりました。

このワークショップを通して他の様々な国に対してもっと知りたい、その国の人と交流したいというグローバルな視点が養えました。

名越 慎さん

15歳のニュージーランド人を  
受け入れたのがきっかけ

私が留学しようと思ったのは、ニュージーランドから来た15歳の少年のホームステイをわが家で受け入れたことがきっかけです。そこから海外に興味をもったのですが、なかなか勇気を出せずにいました。今回タイに行くことができて良かったです。

誕生日のサプライズパーティーは一生の思い出

タイ人学生と日本人学生がチームを組んでWEB作品を作るワークショップでは、英語、日本語、タイ語が飛び交うなか、みんな一生懸命協力しました。最終日にはプレゼンテーションを行い、送別会を開いてくれたのですが、その日誕生日だった私のために、みんなでサプライズパーティーをしてくれたのが何よりの思い出です。

もっと海外に出て経験値を上げて  
いきたい

私はタイに行くまで英語で日常会話さえできない状態でした。でも、帰りの空港でインド人に話しかけられた時、一瞬で英語を理解し、応えている自分にびっくりしました。今回の留学で英語力の向上だけでなく、行動力も養うことができたと思います。もっと海外に出て異文化交流をし、自分の経験値を上げていきたいです。



新妻 慎太郎さん

とにかく、いろんな世界を見たかった

初めて日本以外の文化にふれたのは大学3年の時。アメリカに行って海外の魅力に惹かれ、いろんな国に行きたいと思ったのが今回のタイでの海外事情に参加した理由です。

言葉は通じなくても、WEB作業なら思いは通じる

タイ人学生と日本人学生がチームになってWEB作品を制作しましたが、まわりの学生の技術の高さに驚くことが多々ありました。技術面ではついていけないことばかりだったので、なんとか役に立ちたいと必死に努力しました。コミュニケーションが大変でしたが、WEB制作の面では言葉が通じなくてもなんとかなるというのが印象的でした。

磨かれたのはチャレンジ精神と度胸、行動力

今後に活かすことができると思うのは度胸。タイでは露店で値下げ交渉をしたりすることがありましたが、日本と違って治安が良いわけではないので、自分のことは自分で責任をもって行動しなければなりません。そういう面では強く生きる方法を学び、何かにチャレンジする精神と行動力が鍛えられたと思っています。タイはとにかく暑く、やさしい人々がいろいろなお世話をしてくれたことが忘れられません。



# STUDENTS' VOICE

タイで国際交流。

合同チームによるWEB制作を通して語学力・行動力を養います。

川村 実里さん

タイの学生との共同制作は今しかできないから

海外には、行こうと思えばいつでも行くことができるけれど、“今”じゃないと経験できないことはたくさんあると思います。私は国際WEBデザインコンテストに参加し、タイの学生との共同制作に参加したくて留学しました。

お互いに試行錯誤の連続。そのプロセスこそ  
貴重な体験

私たち日本の学生とタイの学生がチームとなって共同制作していく上で、自分たちが作りたいWEBのイメージをどう英語で説明するか、気になったことをどう伝えるかが課題でした。お互いに困りながら試行錯誤を繰り返し、作業をしていくプロセスでさまざまなことを学びました。

素晴らしい経験をさせてくれた大学や仲間感謝

タイでは都市と地方の貧富の差がとても印象に残りました。道を歩いていると、足のない人が座っていたり、不自由な体で演奏している人がいて驚きました。この留学を通して、日本では経験できないことや、大切な友だちに出会うことができました。お互いの国を歩き来たらこそ、互いの文化や考え方を少しずつ理解できたのではないかと思います。



清野 和宏さん

異文化にふれて自分を成長させたい

私が留学したいと思ったのは、日本とは違う文化にふれて、自分を成長させたい、海外に行くことで英語の勉強をしたいと思ったからです。

ほほえみの国タイ。その魅力にふれた思い

WEB制作のワークショップでは、タイの学生の技術力の高さに驚きました。また、タイの人たちはとてもやさしく、良い人が多いと感じました。「笑顔の国」と言われているだけあって、話しかけると笑顔で答えてくれるのがとても印象的でした。私は自分の英語力の弱さがわかったので、これからもっと勉強していきたいと思っています。

価値観を変えてくれた留学体験

日本では蛇口をひねれば飲むことのできる水道水が出てきますが、タイでは飲料水は購入しなければなりません。自分のなかでは当たり前だったことが国外に行く当たり前ではないということをもっと学びました。この留学を通して、自分の価値観が変わったことを感じています。異文化にふれること。行動してはじめてわかることがあること。留学体験は私にいろいろなことを教えてくれました。



一緒にタイへ行こう!~  
TEACHERS' MESSAGE  
タイ引率教員のメッセージ

タイの学生たちとチームを組んで  
WEBサイトづくりに取り組む。  
笑いと涙と感動が満載された短期留学。

再会を喜びながら、サイトづくりに  
真剣に取り組む姿に感動。

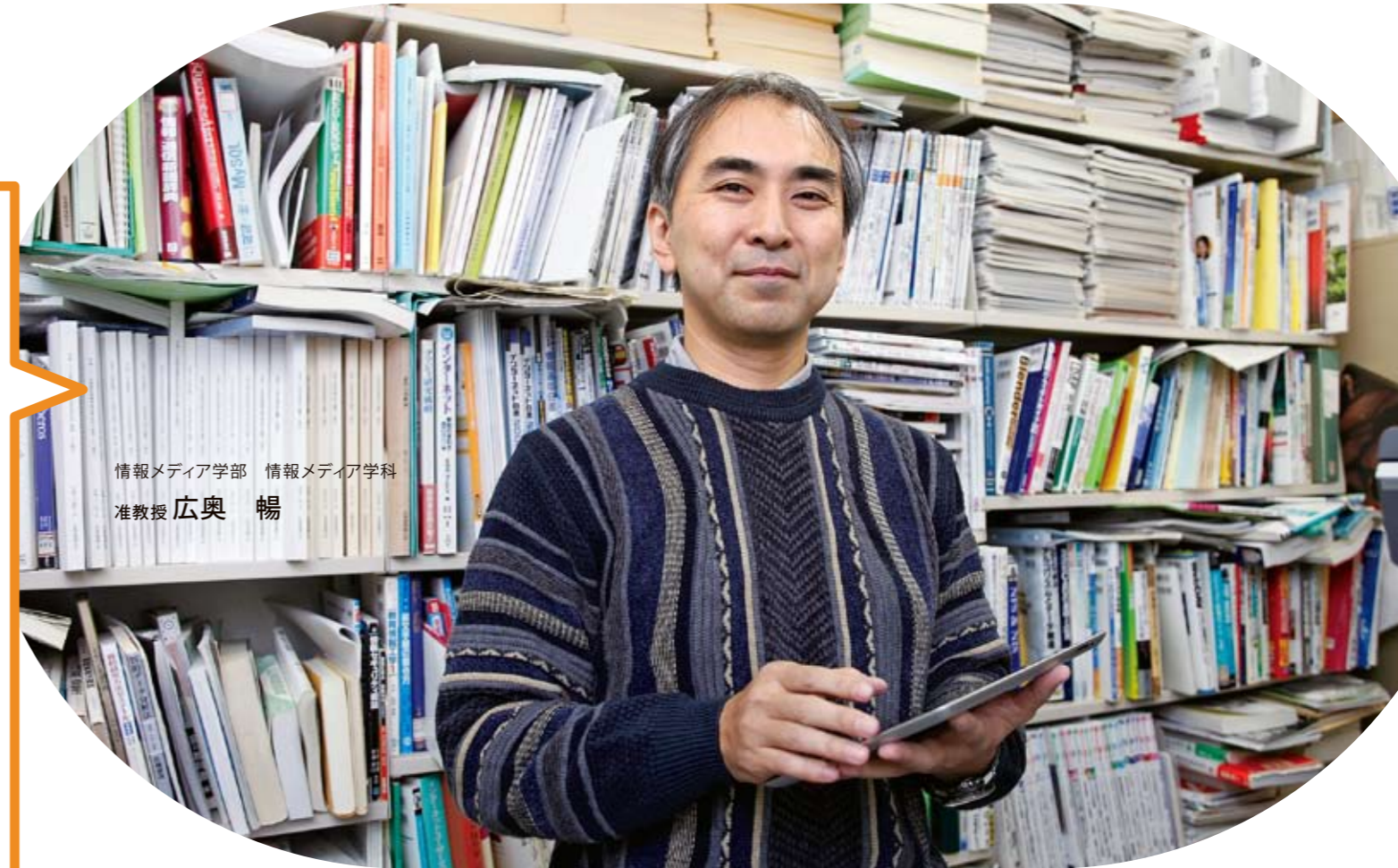
今回のプログラムでは、国際WEBデザインコンテストのワークショップとして、日・タイ共同チームでWEBサイトの作成をしました。タイの学生さんたちが日本に来て、すでにチームとして活動していたこともあり、みんなは再会を喜びつつ、真剣にサイトづくりに取り組んでおり、互いの文化を知ること、英語でのコミュニケーションは、他では得がたい経験だったことでしょう。

驚かされたのは、学生たちのセンスや度胸、底力。

今回のタイへの短期留学では、実に久しぶりに、笑いと涙と感動を味わうことができました。学生たちが日ごろ培った技術を駆使して作成された内輪ネタのムービーに笑い、タイの学生との別れの姿に涙し、さらにはワニにまたがる度胸に感動しました。異国の文化にふれて刺激を受けたこと、情報大の学生たちの繊細さとたくましさ、度胸とセンス、あらゆるものに驚かされ、学生たちもさることながら、私自身も貴重な体験をしたと実感しています。

深く考えずに飛び込めば、  
想像もつかない体験が待っている。

たとえ英語が苦手でも、同世代で同じ目的を持った学生同士はコミュニケーションできるもの。誰かに言われたからでも、単位のためでもなく、純粋に本来の目的や、相手の言いたいことを知りたいと思うことから、英語を改めて勉強してでも話そうとする姿を見ました。深く考えずに飛び込んでしまえば良いのです。その無鉄砲さ、度胸こそ、みなさんが持つ大きな利点ではないでしょうか。飛び込めば、きっと想像もつかない体験ができます。



情報メディア学部 情報メディア学科  
准教授 広奥 暢

両国の学生たちの熱心さと  
可能性の高さに脱帽!  
クオリティの高い作品は見事だった。

日本とタイの相互留学によって交流を深める。

今回のプログラムでは、ワークショップ1として10月5日から約1週間、タイの学生10人が本学に短期留学し、本学の学生とともにWEBデザインの作品制作を行い、途中、著作権の講義、取材などがありました。その後、10日間を宿題作業として空け、10月25日から本学から学生10人がタイに行き、ワークショップ2として約1週間の制作作業を行い、最終日にプレゼンテーションを行いました。

事前に必要な英語を学習し、  
クオリティの高い作品を完成!

タイの学生とは交流があったので、本学の学生10人がタイに行った時にはすでに仲良しでしたが、作品への取り組み方に違いがあらわれました。WEB作品制作に必要な英語を事前に勉強した成果もあって、タイと日本の文化の違いを説明するテーマ5作品が揃い、クオリティも非常に高いものが完成し、これは見事というしかありません。

テレビとネットでしか世界を知らないなんて、  
もったいない。

留学を実現する上でクリアすべき一番大きなものは自分の気持ちです。言葉が通じないことが大きな障壁になりがちですが、言葉は現地に行ってもどうにかなるもの。身振り手振りなどのボディランゲージは世界のほぼどこでも通じますし、カタコトの言葉とスマイルと感謝の握手さえ知ってれば、やっていけるのです。大事なものは、ワクワク感と、なんでも見てやろうの精神。自分の趣味や興味の対象を海外と結びつけてみると、何か接点があるかもしれません。思い切って世界を見てやろう!

情報メディア学部 情報メディア学科  
准教授 安田 光孝

TO STUDENTS

情報大生自慢の23品

# おもいで 拝見

家族に、友人に、思い出として自分用に…。  
とても喜ばれたものや買って良かった!と思える  
お気に入りのものなど、みんなの自慢の  
おみやげを紹介してもらいました!



1  
中にアロマが入ってる  
フラワーディフューザー!  
タイの美しい花々を  
思い出します♪



2  
ギターの持ち手がカッコいい。  
シアトルのハードロックカフェは  
Pike St.にあります!



3  
バンコク大好き♪送別会で  
RMUTTの学生にメッセージを  
もらったのがいい思い出です。



4  
お香はバンコクのお土産屋  
さんでたくさん見ることが  
できます。日本より格安だから  
買わずにはられない!



5  
タイと言えば象。小物は  
5、6個まとめて売ることが  
多く、お土産に最適♪



6  
中国のポテトチップスLay's。  
ペプシコ社から販売されている。  
中国のご当地ポテトチップスを  
ぜひ試してみてください!



7  
タイのおみやげはデザインが  
かわいい♪象の顔がとっても  
大きくてキュート!



8  
ぱかっとあけると、  
中が鏡になっているよ。  
金色に輝く箱が  
タイらしさ満載。



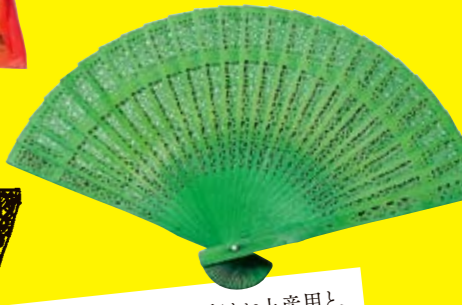
9  
ウィークエンドマーケットで  
ゲット!市場は安いので  
つつい買いすぎちゃった…。



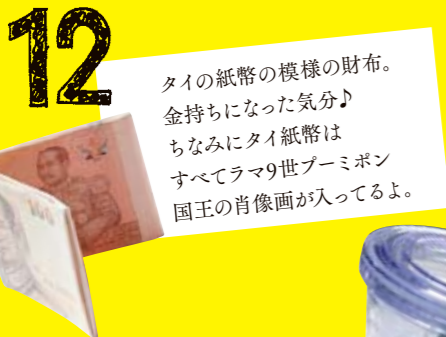
10  
中国のお正月では「福」を  
逆さに書いて、家の中に  
福を呼び込みます。  
その「福」の下に飾るのがこれ。  
これだけ飾ってもいい感じ!



11  
南京ダック!北京ダックよりもあっさり  
していて、こっちの方が好み的人也多。  
まるまる一羽入ってるよ!



17  
中国南京の夏は暑い!扇子はお土産用と、  
散策中に自分を扇ぐために買いました。  
お手頃価格なのでお勧めです。



12  
タイの紙幣の模様の財布。  
金持ちになった気分♪  
ちなみにタイ紙幣は  
すべてラマ9世ブーミポン  
国王の肖像画が入ってるよ。



13  
シアトルといえばスタバ!  
1号店はいつも混んでいて  
入るのも大変。お店の前  
では多くのパフォーマーが  
観光客を楽しませている。



14  
タイで見つけたサングラスたち。  
こういう遊び心が多いのもタイの  
ショッピングの楽しみです♪



15  
ドライマンゴーチップ。  
南国タイだけあって  
ドライフルーツの種類も  
たくさんあるよ。



16  
買わずにはいられなかったこのお面。  
一緒に行った友達も買って、みんなで  
お面をして盛り上がったのがいい思い出♪



18  
パタヤの海岸で拾った貝殻たち。  
瓶に入れてお土産にしたら、  
なかなか好評でした!



19  
金色の美しさにひとめぼれ!  
いかにも中国らしい厳かな作品。



20  
RMUTTで作ってくれた  
ポロシャツ。これを着て  
ずっとワークショップを  
したので、思い出深い!



21  
ふらりと入ったお店で  
みつけた両国の国旗。  
思わず買ってしまった!



22  
美しい中国の刺繍。まるで  
写真のようなきめ細やかさで、  
本当にきれいです。



23  
タイ滞在中に自分の誕生日を  
祝ってもらいました。これは  
そのときのプレゼント♪